

2026 年度短大事業計画

2025 年度は、短期大学を取り巻く環境について教職員が危機感を共有し、「一人ひとりを大切に」にする短大であるために、新たな一步を踏み出した一年でした。エンrollmentマネジメントの推進は、まさに一人ひとりの学生に真摯に向き合う教学活動、学生支援実践を意味すると同時に、地域社会にあって存続し続けて欲しい短大と認識していただくためには不可欠となります。そして当然のことながら、数値目標を達成して終了するものではありません。学生募集と切り離せない連携校との関係づくり、学生の就職先としての地元企業との関係づくりをすすめ、その過程で私たち教職員が学んだもの、得たものが学生に還元されていく必要があります。また学生の声の中に私たちの取り組むべき課題があることを認識し、さらなる情報収集に努め、他大学の取り組みにも学んでいかなければならないと考えます。専門知識の教授とともに、学生の生きる力を育み、社会課題に対応できる能力の養成に地道に努めることが短期大学の役割であることを再確認しています。

2026 年度は、この「一人ひとりを大切に」する短大を実現するための経営ビジョンとして、「短中期経営改善計画」で掲げた

- (1) 建学の精神、教育理念
- (2) 実践的な教育の推進
- (3) 学生の満足度向上

の3点を柱に、急激に変化する時代において短期大学の役割を堅実に果たすことで、本学の存在価値を示していく所存です。

短大教職員は、本学の目指す姿、その実現に向けて自身のなすべきことを再確認し、これまでの経験を活かし、各自が自信をもって教育活動、学生支援に臨みます。向上を目指して常に動き続けること、その動きを地域の皆さまに知っていただくため全員体制で発信しつづけることに努めます。これらを受け、学長は最大限のリーダーシップを発揮します。

1. 建学の精神、教育理念

・エンrollmentマネジメントの実践

(奨学金制度の見直し、学生相談体制の整備、卒業生・同窓会との連携等)

・チャペルアワーやキリスト教行事で学生の活躍の場を設け、学生の心を育てる教育実践

(自己肯定感・他者理解の涵養)

・就職・進学実績の向上

2.実践的な教育の推進（教育魅力度の向上、地域との連携）

- ・長期履修制度および教育連携協定を活かした教育活動の充実（コミュニティ子ども学科）
- ・自治体・外部団体との連携と秋学期の2週間を活かした多様で魅力的な授業の基盤づくり（キャリアデザイン学科、2027 年度のカリキュラム再編にむけて）
- ・学習支援体制の強化（編入支援、基礎学力を補う支援等）

3.学生の満足度向上（居場所、コミュニティの形成）

- ・学内行事の活性化（学友会支援）、学長イベントの充実（昼食会、学長アワーの新設等）
- ・学内環境の改善（本館 A11 教室の改修、安心して過ごせる個人スペースの設置）
- ・教学マネジメント体制の推進（教育内容、教育体制の自己点検）

4.「教職員全員広報スタッフ」プロジェクト

- ・統一したメッセージ（「一人ひとりを大切に」する短大）の発信
- ・情報力のあるコンテンツ開発（イメージキャラクター「にいたん」、キッチンカーの活用等）
- ・他大学の実践も参考にしつつ、教職員全員で目指す「なりたい自分（短大）」戦略

以上